

平成25年度  
総合問題  
(生活科学科 生活科学専攻)

9:30～11:00

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、問題冊子、解答用紙に手を触れてはいけません。
- 2 この問題冊子は8ページで、解答用紙は3枚あります。
- 3 試験開始の合図があったら、まずページ数、枚数を確認し（足りない場合は、手を挙げて監督者に知らせること）、全部の解答用紙に受験番号を記入してください。
- 4 試験中に、印刷の不鮮明な箇所やページの脱落などに気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 解答は、解答用紙の所定の欄に記入してください。
- 6 この問題冊子にある余白は、下書きなどに利用してかまいません。
- 7 試験終了後、問題冊子と受験票は持ち帰ってください。

- 1 次の文章は、環境分野で初のノーベル平和賞を受賞したケニア人女性、ワンガリ・マータイさんの言葉です。これを読んで、下の問いに答えなさい。

【省 略】

(プラネット・リンク編『もったいない』2005年、マガジンハウス、pp. 2～3より作成)

- 問1 下線部①～④について、①，③，④のカタカナを漢字に直し，②の漢字の読み仮名をひらがなで書きなさい。
- 問2 3つのR（リデュース・リユース・リサイクル）の英語のつづりを答えなさい。また，3つのRがどのようなことを示しているか，それぞれ30字以内で答えなさい。
- 問3 身近で「もったいない」と感じる具体的な例を二つ挙げて，その理由を100字以内で述べなさい。
- 問4 「人間一人ひとりに変化を起こす力があるのよ！」とマータイさんが答える理由を100字以内で述べなさい。

**2** 次の表1～表4は男女共同参画社会に関する世論調査の結果である。後の問いに答えなさい。

表1 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方についての推移（全国調査）

	該当者数 (人)	賛成 (%)	どちらかといえば賛成 (%)	どちらかといえば反対 (%)	反対 (%)	わからない (%)	賛成計 (%)	反対計 (%)
平成21年10月調査	3,240	10.6	30.7	31.3	23.8	3.6	41.3	55.1
平成19年8月調査	3,118	13.8	31.0	28.7	23.4	3.2	44.8	52.1
平成16年11月調査	3,502	12.7	32.5	27.4	21.5	5.9	45.2	48.9
平成14年7月調査	3,561	14.8	32.1	27.0	20.0	6.1	47.0	47.0
平成9年9月調査	3,574	20.6	37.2	24.0	13.8	4.4	57.8	37.8
平成4年11月調査	3,524	23.0	37.1	24.0	10.0	5.9	60.1	34.0

注1：結果数値（%）は小数点以下第2位を四捨五入してあるので、内訳の合計が計に一致しないこともある

注2：「賛成計」は、「賛成」「どちらかといえば賛成」の合計

「反対計」は、「反対」「どちらかといえば反対」の合計

（内閣府大臣官房政府広報室『男女共同参画社会に関する世論調査』2009年，  
p. 55, 57より作成）

表2 性・年代別にみた「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について  
(平成21年10月全国調査)

	該当者 数 (人)	賛成 (%)	どちら かとい えば 賛成 (%)	どちら かとい えば 反対 (%)	反対 (%)	わか ら な い (%)	賛成計 (%)	反対計 (%)
(男性)	1,510	11.9	34.0	30.4	20.7	3.1	45.8	51.1
20～29歳	143	2.8	31.5	37.8	25.9	2.1	34.3	63.6
30～39歳	224	4.9	40.2	29.5	20.1	5.4	45.1	49.6
40～49歳	223	5.8	36.3	36.3	19.3	2.2	42.2	55.6
50～59歳	280	10.4	33.6	28.6	22.5	5.0	43.9	51.1
60～69歳	352	15.3	28.1	29.8	24.4	2.3	43.5	54.3
70歳以上	288	23.6	36.1	25.3	13.2	1.7	59.7	38.5
(女性)	1,730	9.5	27.8	32.0	26.6	4.0	37.3	58.6
20～29歳	176	3.4	24.4	43.8	26.1	2.3	27.8	69.9
30～39歳	249	5.6	30.5	32.5	25.7	5.6	36.1	58.2
40～49歳	303	2.6	30.7	34.3	27.4	5.0	33.3	61.7
50～59歳	337	4.7	25.2	32.0	34.7	3.3	30.0	66.8
60～69歳	366	14.5	26.5	27.6	27.6	3.8	41.0	55.2
70歳以上	299	22.7	29.1	27.8	16.4	4.0	51.8	44.1

注1：結果数値(%)は小数点以下第2位を四捨五入してあるので、内訳の合計が計に一致しないこともある

注2：「賛成計」は、「賛成」「どちらかといえば賛成」の合計

「反対計」は、「反対」「どちらかといえば反対」の合計

(内閣府大臣官房政府広報室『男女共同参画社会に関する世論調査』2009年、  
p.56より作成)

表3 東京都の「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について

		該当者 数 (人)	賛成 (%)	どちら かとい えば 賛成 (%)	どちら かとい えば 反対 (%)	反対 (%)	わから ない (%)	賛成計 (%)	反対計 (%)
東京都 平成23年	全体	1,892	8.8	31.3	29.7	23.6	6.6	40.1	53.3

注：「賛成計」は、「賛成」「どちらかといえば賛成」の合計

「反対計」は、「反対」「どちらかといえば反対」の合計

(東京都生活文化局『男女平等参画に関する世論調査』2011年, p.47  
<http://www.metro.tokyo.jp/INET/CHOUSA/2011/05/DATA/6015n105.pdf> より作成。  
 ただし、一部表記を改めたところがある。)

表4 鹿児島県の「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について

		該当者 数 (人)	賛成 (%)	どちら かとい えば 賛成 (%)	どちら かとい えば 反対 (%)	反対 (%)	無回答 (%)	賛成計 (%)	反対計 (%)
鹿児島県 平成23年	全体	1,839	10.8	42.1	29.4	14.6	3.1	52.9	44.0

注：「賛成計」は、「賛成」「どちらかといえば賛成」の合計

「反対計」は、「反対」「どちらかといえば反対」の合計

(鹿児島県県民生活局男女共同参画室『鹿児島の男女の意識に関する調査(平成24年3月)』  
 2012年, p.31 より作成。ただし、一部表記を改めたところがある。)

問1 日本では「夫は外で働き，妻は家庭を守るべきである」という考えを解消する取組みが行われている。なぜこのような考えを解消する必要があるのかを200字以内で述べなさい。

問2 表1，表2から読み取れることを240字以内で述べなさい。

問3 表3，表4から読み取れることを140字以内で述べなさい。

**3** 下の例のように正方形の紙を **1～3** の順に折りたたみ（全て谷折り）、グレーで示した部分を切り落としました。そして、それを逆の順に広げていき、開ききった状態の形を表したものが下の**例題完成図**です。

次の **A, B, C, D** の正方形の紙をそれぞれ例と同じように **1～3** の順に折りたたみ、グレーの部分を切り落とした後、逆の順で広げていった場合どのような形が残るか、その形を描きなさい。手描きでも定規を使用してもかまいません。なお、実際に紙を切ったり折ったりしてはいけません。解答欄の点線で示した方眼の外枠は元の紙のサイズとします。



